

研修内容について

9月16日（木）

○ 講義 ○

1時間程度、SSTとはどのようなものなのか、どのように使いこなすのかなど、資料を使い吉田講師の体験談を交えた講義。その後、机を取り払いグループに移動できる状態にして、演習を行いました。



吉田講師による講義

○ 基本訓練モデルデモンストレーション ○

「グループSST」の基本的な進め方を更生保護施設職員の方に参加いただき、デモンストレーションにより学びます。課題は「SSTマニュアル」50ページ掲載の新聞店に就職面接の予約の電話をする場面。



グループSSTの
デモンストレーション

○ フィードバックの練習 ○

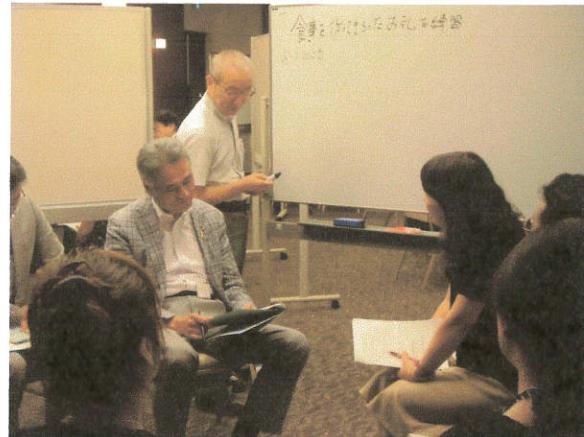
4人1組のグループに分かれ司会を決め、自己紹介。名前と今楽しみにしていることを話し、よくできたところを「ほめる」練習。SSTでは「できていないこと」を指摘するのではなく、「できていること」を確認して自信を持ち、それを積み重ねていくことで、目標を達成します。



よくできたところをほめる

○ひとりSSTの体験○

4つに分かれ、講師がそれぞれのグループに入り、2人1組で、SSTを練習しました。練習後、順番に発表し、良かったところを話します。



ひとりSSTの体験

○感想・質疑応答○

午後6時、研修1日目の日程を終了し、最後に各グループの代表が、感想などを述べました。

9月16日（金）

○ウォーミングアップ○

○3グループに分かれて練習○

保護司2グループ、更生保護施設職員1グループに分かれ練習しました。保護司はひとりSSTを中心に、施設職員はグループSSTのリーダーの体験も行いました。



グループSSTのリーダー体験

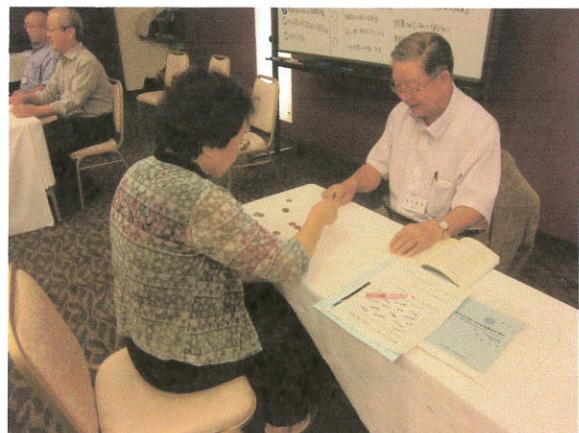
○全体で「問題解決法」○

問題が何かをはっきりさせ、思いつく解決法を挙げ、その長所と短所を考え解決策を選ぶ方法です。

対処法	実現の可否	長所	短所
○自分だけで済む	○	問題点が明確になり、被害が分かる	客觀性がある。思いつき通り
○主任官に相談する	○	日々の業務でハイスキモラえも	主任官によりけり。自分の評価
○仲間や其方する(危険)	○	ペテランの経験で、参考できる	相談している時に間違ったことをある
○サポーターカード相談する	○	相談の時に出来る	説得されないことが多い
○仲の良い保護司に相談する	○	安心感、開放的でらえる	相談したい人が少ない、忙い
○あきらめる	○	イヤな思いは無くなる	時間のかかる、済うめい

○ 3グループに分かれ「コインマップ」 ○

コインを使用して、対人状況に関する本人の現状把握などを学びました。



コインを使って

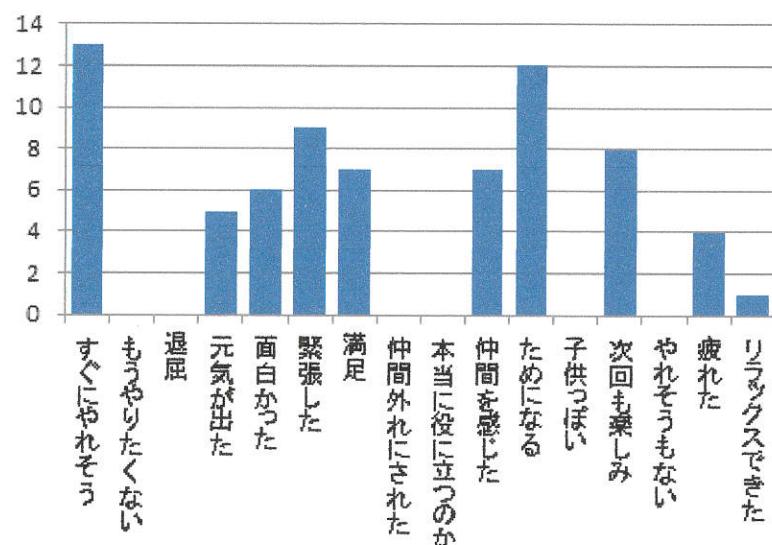
○ 全体で振り返りとまとめ、質疑応答 ○

○ 修了証書授与 ○

10時間の研修を終え、修了証書が授与されました。



10時間、お疲れ様でした



保護司として参加された方へ
アンケートで感想を聞きまし
た（複数回答）。